



緑の風



よいお正月を！

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

“楽しい” 「冬休み」を



不思議なスピードで、令和2年が終わろうとしています。
なんとなく、地に足が付かないまま、月日だけはいつものスピードで過ぎました。
それでも、本校では秋を中心とした全校での学校行事も全て実施することができました。
区切りの今、改めて保護者の皆様と地域の方々のご協力に、心から感謝申し上げます。

さて、あさってから冬休みは、「コロナ禍の冬休み」です。そして、先週のような、寒気や大雪と共存する冬休みです。学級でも、生活や学習について指導していますが、各ご家庭でも持ち帰った資料等をうまく活用して、かみ砕いてお話して、大事なことが心に染みこむようにご配慮ください。

「楽しい冬休み」・・・ありきたりの言葉ですが、大切にしたいことです。
“楽しい”の裏側には、いつも「自分もよくて、みんなもよい」という考え方とか心のもちようが必要だと考えます。そして、そのベースには、「自分の命は自分で守る」という柱があります。次の四つは、冬休みの具体的なことになるのでは？

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ○ゲームの約束を守ること | ○家庭学習のめあてに沿ってがんばること |
| ○家のお手伝いをやり遂げること | ○安全に気を付けて過ごすこと |

冬休みは、いろんなことを「自分で考える」チャンスです。そして、その結果として、真の「楽しい冬休み」になることを願っています。
「自分で考える」「楽しい冬休み」になるために、私のお気に入りの本に書かれてあるキーワードを紹介します。冬休みにチャレンジできることが見えてきませんか？

「The Self-Driven Child (脳科学が教える「子どもにまかせる」育て方)」より

- 親の仕事は、子ども自身がやる気を出すことを支援することだ
その鍵は「コントロール感」(自分で決められること)にある
- ・親は監督や上司ではなく、コンサルタント(支援はするが支配はしない)
 - ・子どもに任せてよい範囲を決める。そして、判断材料となる情報を与える
 - ・子どもに選択肢を示しているか
(自分で服を選ぶとか自分で部屋を模様替えるなどの、コントロール経験を積む)
 - ・失敗から学ぶことを支援する

- 宿題の本来の目的は、好奇心旺盛で自発的な学習者を育てること
- ・親だけが必死に子どもの問題を解決しようとする、子どもは弱くなる
 - ・誰かに「やらされる」ことがわかると、自分で考えなくなってしまふ



「校地に入らない」 登下校時の送迎へのご協力 ありがとうございます
前回の学校報で、学校の校地内への車の乗り入れについて協力をお願いをしたところ、さっそく校門に入らずにお子さんを車から降ろして下さる方が増えています。
こうした学校からのお願いに耳を傾けて、実際に行動に移して下さる保護者の方々がいるということに、改めて感謝いたします。

1. 2年生も「外国語活動」を楽しんでいます！



今年も佐々木千秋先生による、楽しいクリスマスイングリッシュタイムを過ごすことができました。

いつもは、低学年と秋のハロウィンも実施していましたが、コロナ禍で自粛していました。マスクをして、離れてのミニニケーションでしたが、クリスマスカードを使ったフルーツバスケットで遊んだり、絵本を読んでもらって、英語であう素敵な時間でした。

元気と明るさ100%の千秋先生から、子どもたちもたくさんの“笑顔のプレゼント”をもらっていました。



先生方の授業参観Ⅲ

冬休み前最後となる、「先生方の、先生方による、先生方のための授業参観」が、元気はつらつの2年生で行われました。

12月22日（火） 2年生・道徳 主題名・生きる喜び（生命の尊さ）
 教材名「ぼく」 指導者・藤原薫先生



全校で1番元気な2年生が、じっくり考える心の勉強、道徳の時間を見せてくれました。

今回は、いろんな「すきなもの」を見つけ合う中で、「自分（ぼく）」に目を向けて、生きることや命の大切さについて考える学習でした。

グループでの学び合いの場面では、友だちのよいところをたくさん見つけて教え合う時間がありました。ますます自分のことが好きになって、友だちにも感謝できる、とっても素敵な心の勉強でした。



「たいようの声と笑顔で“発信”する 第1回『たいようくんステージ』開幕

「楽しい学校」を象徴する、子どもが動かす学校イベントがスタートしました。写真でその様子をお伝えします。

